米国パイプストーン社のスコット・ディー先生等を交えての社内勉強会を開催しました

2023 年 7 月 26 日、グローバルピッグファーム株式会社（GPF）本社にて、DSM 株式会社様ご協力の下、米国パイプストーン社のスコット・ディー先生と DSM Nutrition Products, Animal Nutrition & Health 部門のマリア・ウォルシュ博士による技術セミナーが開催されました。

GPF のコンサル獣医や育種チームの方々、飼料育種部の面々など、総勢 20 名が参加した勉強会となりました。ディー先生が米国ミネソタ大学教授時代の愛弟子で、現在は養豚コンサルタントしてご活躍されている(株)スワイン・エクステンション＆コンサルティング社の大竹博士に通訳をお願いいたしました。

まず初めに DSM 社アニマルニュートリション本部長の小本様より DSM 社の近況と畜産・養豚への事業活動のご説明、並びに持続可能な開発目標 SDG s への取り組み等のプレゼンテーションがありました。オランダ石炭公社(Dutch State Mine)を祖として、120 年にわたり、社会課題の変化に合わせ事業ポートフォリオを大胆に変革されてきた経緯と、現在の健康、栄養、バイオサイエンスに特化した事業展開は業界における世界的なリーダーとしての不動の地位を確立されています。GPF におきましても、飼料の品質に大

きく影響するビタミン・ミネラルのプレミックスやフィターゼ等の機能性飼料原料の供給をしていただいております。

ディー先生からは『獣医学的に重要なウイルスの輸送および伝播の媒体となり得る飼料原料のリスク：我々は何を知っているか？　何ができるか？』と題したプレゼンテーションがありました。ミネソタ大学獣医学部離職後、パイプストーン社にて経験されてきた農場バイオセキュリティーや越境輸送モデルの研究に関するプロジェクトで、豚や精液等による直接的なリスクとは異なる、間接的なリスクである飼料、空気や運搬用トラック等のリスクについての研究結果や知見を共有していただきました。

またパイプストーン社で近年開始された新たなバイオセキュリティーのプログラムについてもご説明いただきました。

マリア・ウォルシュ博士からは『信頼できる候補豚の保護』と題したプレゼンテーションをしていただきました。上梓されている代謝型ビタミンD3は適切な骨格形成に重要なビタミンDの供給源となるばかりではなく、繁殖生殖器の健全な発達と免疫の発達に重要な役割を果たすことが明示されました。また胎仔の筋繊維の増加にも関与することが示されました。

勉強会の最後に、夫々の講師の方と DSM Nutrition Products Australia Pty Limited 社のジェフ・ハンドレイ氏に感謝の気持ちを表して、記念品を贈呈させていただきました。

DSM 社の皆様、ディー先生、そして長時間にわたり通訳をしていただきました大竹先生、今回の勉強会では大変にお世話になりました。誠にありがとうございました。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。